町を擧げて迎へん!!
待望の郡青年体育大会

八月中旬。愈々待望の中蒲原郡青年陸上競技大會が當地に於て開催される。町の陸上競技部も錬習に余念がない。特に昨年の小須戸に於ける同大會の惜敗を思うとき、今年こそは、石にかじりついても優勝せねば……と云ふのがコーチ、選手の意気であり、決心である。本大會は地元に於て開催されるだけに、地元選手は是非とも優勝したいだらう。我々も選手諸君に絶大な後援を贈ると共に、最良のコンデションで、最良の記録を樹てゝくれるやう祈つてやらねばならない。

しかし、優勝への道は険しい。得点を稼ぐ——これが優勝への唯一の道であるが、この問題を少しく検討してみやうと思ふ。

多量得点！を挙げるには選手の量を増さねばならない。即ち今までの小数精鋭主義の殻から抜けて、多数得点主義へ移らなければならない。特に白根の場合、選手の質から量への移行の問題が急を要するのである。即ち、笹川・和田・吉川・堀川君等の既成選手が、各種目で第一位になつたとしても、出場種目は、一人二種目以内であるから（リレーを除く）それ以上の得点が許されないのである。又、大會は一日限りであり、しかも豫選から決勝まで数回出場しなければならないのであるから、一人二種の制限は限りある人間の肉体的能力では難しい。縣下一の名スプリンターを擁してゐるとは言ひ、規則上の制限と、人間の肉体的條件を克服せねば優勝は望み得ない。フィールドと短距離にこれら地元の既成選手が奮戦しただけでは、結局昨年のわだちを踏む破目に陥ることは必定である。

因みに、昨年の綜合優勝チーム「金津」と二位の「五泉」及び三位となつた「白根」の得点を比較してみやう。「金津」は五三点、第一位の種目は男子四〇〇米、女子一〇〇米、走巾跳計三種目。「五泉」は四九点、第一位の種目は男子一、六〇〇米リレー、走巾跳、女子六〇米計三種目。「白根」は四四点で一〇〇米、二〇〇米、八〇〇米リレー、及三種目競技、計四種目で、女子は無である。男子部は優勝したが、女子の總得点が四四点中、一点しかなかつたことは淋しい。昨年敢闘してくれられた女子選手をここでとやかく言ふ気持は毛頭ない。しかし斯く惨敗を喫した因は全て女子選手にあるのではなく、却つて後援する我々にあつたのではなからうか。果して昨年温い心で女子選手を激励してやつたかどうかを反省してみなければならない。眞面目に一生懸命に練習してゐるのにも不拘、「あの人はお転婆だ」とか、何んだ彼だと白眼視し、侮蔑する傾向が一部にはあつたのではなからうか。かかる精神的負擔をかけられてどうして好記録を生むことが出来よう。もつと大きな、温い心で女子選手に声援を贈り、最大の活躍をしてくれるやう祈つてやらうではないか。

次に課せられた問題は「選手の量」である。トラックの得点は殆んど短距離であると云ふことを認識してもらひたい。これは中・長距離ランナーに不足する白根チームの悩みであり、穴である。しかし「金津」「五泉」は第一位となつた種目が「白根」より少く、夫々三種目でありながら、しかも綜合得点が上位であると言ふことは、結局他の種目で二・三位にくひこみ、こつ〳〵と得点を挙げたと言ふことになるのではなからうか。少数精鋭主義が如何に優勝を阻んでゐるか。しかも得点のアンバランスが招いた結果が長蛇を逸したことに思ひをいたすとき、敢然として多数得点主義へ転向せねばならないのである。「多数の選手が二点・三点と稼ぐ」これが優勝への懸橋であり、野望成就の道である。栄冠への道は険しい。しかしこれに屈してはならない。あく迄も前進するのみである。

それでは如何にして少数精鋭主義から、多数得点主義への道を開拓するか。新進の發成、精進あるのみ——来る七月一日には町の陸上大會があると聞く。「もつと早くならぬものか、一日でも早く練習した方が、他チームより有利なのだから……」と云ふ意見もあるようだが……兎に角、この陸上大會で一応選手の顔触れが決まる譯だが、此の榮ある選手に撰ばれた方々は既成選手を凌ぐやうに一生懸命練習して戴きたいと思ふ。先輩の指導を守り、それにオジケず練習に励んでもらひたい。先輩が新進をリードするのは當然なのだから、勇気を以つて一日も早く先輩を脅かしてやつてもらいたい。特に「陸上白根」の面目にかけて……。優勝への鍵は新進選手の奮闘如何にあると言つても決して過言ではない。まだ時日も充分にあることだし、大會當日には最善を盡し得るやうに、コンデションの調整を心掛けておいて欲しい。

陽は西に傾き、欅の若葉が夕風にそよいでゐる。嬉しそうに

（郡大會をめざして陸競のトレーニング）

トラックを走つてゐる選手。堂下さんがちようどみえてゐたので郡大會について聞いて見た。希望は——「白根での十八年ぶりの大會なのですから、熱々応援して頂き、立派な大會を致……そして町全体に郡大會の気分が漲つてゐたら、選手一同に大きな精神的激勵を與へてくれると信じてゐます。トラックもあの欅を取除いたら地ならしもしなければなりませんし、フィールドに踏切板も備へたいのですが……。」

自信は——「どうしても優勝を……。幸い女子選手も新進選手も仲々まじめに練習してゐますからチーム・ワークさへうまく纒れば優勝出来ると思つてゐます。選手のコンデションも上々ですし、全力を盡して、ブッカリますよ。」とタオルで汗を拭きながら……。そしてその笑顔には自信が漲つてゐた。

この熱心な練習が必ず報ひられるだらう。郡大會優勝への道それは遥か北欧のヘルシンキへ続いてゐる。我々も出来る限り応援しやう。そして選手の健闘を祈らう。

熱球飛ぶ！
◎少年野球大會

青少年の健全なるレグリエーションとして隆昌の一途を辿る野球は当町に於ても、すく〳〵と健全なる育成をとげつゝある。こゝに於て、薫風そよぐ五月五日（子供の日）並びに十三日の両日、本館主催、警察の絶大なる協力後援の下、白根町少年野球大會が開かれた。優勝旗並びに山崎タイトパイプ寄贈の大カップ争奪をめぐつて、次代を背負ふ少年の潑溂たるプレーが展開せられ、熱戦激斗の結果今年度優勝の係栄は第二區チームによつて樹立された。戦跡左の通り

•準決勝戦

								計
第一區（一ノ丁方面）	1	0	0	0	0	3	0	4
第四區（能登方）	0	0	2	0	0	2	1	5
第三區（櫻町方めん）	0	0	0	0	0	5	2	7
第二區（稲町方めん）	1	0	0	0	0	0	0	1

•決勝戦

								計
第四區	0	0	0	0	0	0	1	1
第二區	0	0	0	0	0	0	2A	2A

六月三日亀田小学校において行われる郡大會への出場メンバーは次の如く決定した。

投手	斉藤 俊成	遊撃	高木 彦次
〃	佐藤 甚一	左翼	吉田 卓
〃	長谷川 秀雄	中堅	小林 幸男
捕手	笹井 信一郎	右翼	栗林 貞義
〃	水野 弘	補	田村 政夫
一塁	福島 哲男	〃	近藤 邦臣
二塁	藤野 孝司	〃	山井 甚一
三塁	林 清		

◀アンケート▶

1. あなたは公民館に何を望んで居られますか？
2. あなたは青年に如何なる事を望んで居られるか？
3. あなた(青年)は社會に何を望んで居るか？ あなたの最近お讀みになつた本は？
4. その他社會教育に関しての御意見

（順序不同）

藤崎清吉

1. 社會教育の基本たる公民館の發展は各部員の御出席良好なるに依る。依つて出席率の最も良好なるを望む
2. 日本の將来は青年各位の御努力に依る故に共同一致の精神と文化的思想の發成に励まれん事を望む
3. 地方自治法、地方税法
4. 縣郡の社會教育指導方針たる實際に於て誠意がかけて居ると思ふ（限紙なる故事實の理由は略す）（天降り式）

清水勘作

1. 公民館事業を廣く町民に用いらるゝようにしむける
2. 白根町連合青年會は一致の行動で活動を御願ひする
3. 有名なる人の歴史が希望であります
4. 名士の講話を望む

木村平一郎

1. 獨立の館舎を持つこと（居は気をうつすと言ふから）
2. 互に結び合ふことが自らを尊くすることの自覚
3. 雑誌「大法輪」 明行本 昔の本だが露伴の「洗心録」
4. 萬人が萬物に愛情をそそぐやうになる教育を実施して欲しい

巖 長平

1. 類よりも内容の充実と積極的活動を望む
2. 青年らしくあれ時局を良く觀察し青年社會に於ては他に左右せられる事なくむしろ無鉄砲的でもやり過ぎる位に活動してほしい
3. 川田順著（孤閑録）
4. 空想的でなく理想的なる現実

1. 會議が多すぎる。[illegible]閑議にしたい。平和な白根町になるよう望む 視覺教育は目で見てすぐわかる故数多く見せてもらいたい
2. 白根町連合青年會は利害を超越して紳士的であつてほしい
3. (立志傳) (でんせつ) (經濟)
4. (政爭はげしくては町は發展せず町の不利)

今井勇松

2. 郷土青少年を中心にしていつも春風が吹いているような楽しい家庭共のふんいきを近隣に、部落、町そして縣、國に世界にひろげて行こう。郷土の繁榮も再建も第二の國民である。

成と連絡に努力すること

2. 讀書、旅行 知性と教養をみにつけるために。
々の虹 小絲源太郎著　若き女性のために 天野貞祐著
4. 学校、家庭の教育と緊密なる連けいによる一貫性を持たなければならないこと

赤ちやん大會

兒童福祉週間で去る五月十二日昭和二十五年四月一日より二十六年三月三十一日迄の出生孔兒百四十七名の出席者を迎ひ盛大に實施されました。醫師花井・小澤・吉川・和貝各先生方の熱心な審査の結果左の健康優良兒が決定され、◎印は郡の赤ちやん大會に出場致し、関根良子さんは女子の方で二位・田村正敏さんは男子の方で四位、何れも優秀な成績をおさめ、町でも左の健康優良兒のために去る五月二十八日表彰式を挙行しました

住所	世帯主	氏名
◎砂押	ルテ	関根良子
◎鯵潟	十一	田村正敏
一ノ四	政市	淺見政敏
二ノ丁	敬夫	藤野正子
三ノ丁	由男	山口眞紀子
横ノ四	集松	川口松男
魚ノ一	豊三郎	穂苅秀子
魚ノ三	半右エ門	熊倉敏子
魚ノ五	藤五郎	吉原マリ子
能登五	辰次郎	田村正和
保坂	仁作	坂上良男
保坂	ミタ	入山統

［懸賞］

今年の爪合戰の
大爪の優勝は何組で何勝するか？

さて皆さんお考へ下さい
答はハガキで役場内公民館係へ
〆切 六月十日
發表 次号
正解者十名に賞品進呈
但し正解者多数の場合はクジビキ

郡青年体育大會 準備態勢成る

準備委員會機構は左の通り

委員長	塚田平治
副委員長	佐野善榮知
仝	皆澤英太郎
總務部長	田村貞次郎
渉外部長	佐野善榮知
宣傳部長	時田寅一
設營部長	石川キヨノ
施設部長	鈴木龍男
器材部長	堂下正直

白根町各種團体 新役員決る

▲中学校P・T・A
會長 皆澤英太郎
副會長 石川傳三郎
仝 中村俊松

▲小学校P・T・A
會長 川瀬平一郎
副會長 山崎久彌
仝 清水茂衛
仝 清水節義

▲連合青年會
會長 佐野善榮知
副會長 田村貞次郎
仝 笠井三作

▲婦人會
會長 石川キヨノ
副會長 吉川キミ
仝 朝倉ミネ

懸賞当選者發表（第四号）

答［配水塔］

一、応募者 五七名
二、正解者 三八名
三、當選者氏名
魚町第四 薄田マツ
三ノ町 渡辺サヨ
横町第一 加藤勝治
魚町第四 池田玉枝
旭町 下西弘子
四、賞品は六月十五日までに役場内公民館係よりお受取り下さい。

公民館の歩み

四月一日 白根町柔道倶楽部主催 白根地方有段者大會を後援
四月十日 公民館報第四号発行
四月十四・十五日 巡回映畫會を開催
四月十六日 保健衛生部々會
五月五日（十三日） 第一回白根町少年野球大會開催
五月十日 公民館報編集委員會